

<制作過程について>

御意見, 御質問	県対応方針
<ul style="list-style-type: none"> ・ 展示制作に関するプロセスを示してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページなどを通じて、制作過程を公表します。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元や周辺の伝承活動者と調整をする場を設けてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要に応じて、意見交換の機会を設けます。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 意見交換会を通して、アクションプランを一緒に作っていくのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 御意見を参考に展示の制作、運営を行ってまいります。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 映像制作を委託すると、制作業者に地元の真意が伝わらないのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 監修アドバイザーに展示内容の適正性を判断いただき、制作を進めてまいります。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 展示制作業者が説明する機会を設けることはできるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県が承ります。

<コンセプトについて>

御意見, 御質問	県対応方針
<ul style="list-style-type: none"> ・ 他の施設と比較して、独自性はどこにあるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 監修アドバイザーなどからの御意見を参考にしながら、独自性を発揮できるよう検討してまいります。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 宮城県の独自性は、伝承活動が活発なこと。また、街の上、暮らしの上に復興祈念公園が造成されることだと思う。 ・ 独自性として、東日本大震災では多くの方が亡くなり、宮城県は其中でも多くの方が亡くなったことがあると思う。 ・ 伝承活動者が感じてるような「伝えることの難しさ」こそ、伝えるべきなのではないかと思う。 ・ 一番伝えたいことは「命を守る」こと。科学的・客観的内容と対極する何千人も亡くなった一人一人の命がイメージできるようなところを見せられたらよい。 ・ いまの人をターゲットにするのではなく、後世に伝えるには、どのようにすればよいかを基本として考えてほしい。 ・ 未来に向けて、各地を結んで引き上げていくというハブ機能が「ゲートウェイ」の意味だろう。しっかりと、このスタンスをキープしていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 御意見として承り、今後の参考とさせていただきます。

御意見, 御質問	県対応方針
<ul style="list-style-type: none"> ・「inori～メッセージ～」のコンセプトに「震災への思い」とあるが、この表現に違和感を感じる。「被災地への思い」など他の表現に改めるべきではないか。 ・「見る人の共感」という言葉が使われているが、「共感」という表現に違和感を感じる。「共感」とは感動するときを使うのではないかと考えられ、地震や震災に感動するかという違和感を感じる。 ・「備え（逃げる）」という表現が使われているが、「備え」と「逃げる」は、同じようではないと思う。言葉を吟味してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な表現となるよう配慮します。

<展示内容について>

御意見, 御質問	県対応方針
<ul style="list-style-type: none"> ・「記憶シアター」の最新技術を駆使した印象的な映像表現とはどのようなものか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・静止画を重ね合わせて、動きを持たせる表現などを検討しています。
<ul style="list-style-type: none"> ・「記憶シアター」では、津波の映像をできるだけ入れずに、「教訓シアター」ではリアルな津波の映像を放映する意図はどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・津波の映像を見ると気分が悪くなる方などへ配慮するためです。
<ul style="list-style-type: none"> ・津波のシーンを見せなければ、実際の臨場感は伝わらないと思う。 ・他の施設では「津波の映像が流れますよ」と運営員が伝えながら流している。ここでも運営員が伝えるなどして、津波の映像をきちんと流すべきではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「教訓シアター」では、津波の映像を流すこととしており、放映前に津波映像が流れることを注意喚起することとしています。
<ul style="list-style-type: none"> ・「教訓シアター」で、リアルな映像を流すのは分かるが、科学的視点というところを詳しく教えてほしい。 ・「教訓シアター」の科学的視点とは何を根拠に。「逃げる」という表現が良いのでは。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地震や津波のデータやメカニズムなどの科学的な視点で「逃げる」ことの重要性を伝えることとしています。
<ul style="list-style-type: none"> ・津波のことだけでなく、地震のことも伝えるようにしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「大震災の概要」や「教訓シアター」などで地震の概要やメカニズムを紹介することとしています。
<ul style="list-style-type: none"> ・「教訓シアター」と「記憶シアター」の壁が抜けているが、音響干渉はどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「記憶シアター」と「教訓シアター」の放映時間をずらすなど、干渉しないよう配慮します。
<ul style="list-style-type: none"> ・「記憶シアター」に最新の映像とあるが、もはや飽きられているのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・御意見として承り、今後の参考とさせていただきます。

御意見, 御質問	県対応方針
<ul style="list-style-type: none"> ・「記憶シアター」のプロジェクターで映す光度の問題は解決できたのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・天候によっては、見づらい印象となります。
<ul style="list-style-type: none"> ・映像や証言は、完成しているものを流すのか、それともこれから作成するのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・既存のものと、新たに撮影するものを組み合わせて制作します。
<ul style="list-style-type: none"> ・映っている証言者とは、きちんとコミュニケーションをとってほしい。知らないところで使われないようにしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・著作権等の権利処理を適正に行います。
<ul style="list-style-type: none"> ・「津波から命を守るために」は、大切な展示だと思う。その意味でも、大勢の方が見るには、モニターが1か所では足りないのではないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・モニターを複数設置する予定です。また、展示の動線については、今後検討してまいります。
<ul style="list-style-type: none"> ・「復興MAP」の時期について、年数が違うと全然内容が違ってくる。計画的に更新してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・更新可能な設計としています。更新方法についても監修アドバイザーなどからの御意見を参考に検討してまいります。
<ul style="list-style-type: none"> ・人間の記憶として8年経つと語る内容も変わってくる。いつの時点の語りを映像で流すのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・監修アドバイザーなどからの御意見を参考に検討してまいります。
<ul style="list-style-type: none"> ・「メモリアルギャラリー」では、どのような震災遺物を置くのか。 ・倉庫が無いとのことだが、展示で使用する遺物はどうするのか。 ・持ち込む遺物はどんどん劣化していくと思うが、100年後、200年後はできなくなるのではないのか。 ・遺物には光に弱いものもある。「つなぐ館」では、展示していない時には、遺物を暗幕で覆うなどしている。提供してくださった方への配慮をしてほしい。 ・「メモリアルギャラリー」について、誰もが触ってみられる資料と遺物を並べるのは危険ではないか。 ・「メモリアルギャラリー」について、イラストからすると、震災遺物が凄く小さいので、津波の威力などは分からない。亡くなった方の遺品などを展示するところなのか。何を置くか、スペース的にも少し考えた方がよい。 ・映像やパネルが多いが、遺物は置かないのか。遺物のほうがインパクトがあるのではないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・収蔵のためのスペース等管理上の課題があるため、遺物の常設展示を行わない予定です。

御意見, 御質問	県対応方針
<ul style="list-style-type: none"> ・「finori～メッセージ～」について、想いを残したい人は残し方も様々だと思うので、表現方法に幅を持たせてほしい。オーソドックスなものもいい。メモや言葉や絵を残したい人もいるかもしれない。選択できるとよい。 ・「誘いスマートMAP」について、震災伝承施設の第1分類も分かる展示にしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・御意見として承り、今後の参考とさせていただきます。
<ul style="list-style-type: none"> ・主要機器は、どのような頻度で更新していくのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・更新時期は、県の予算を踏まえながら検討してまいります。
<ul style="list-style-type: none"> ・何か国語の対応をしているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語、英語、中国語（簡体、繁体）、韓国語の対応を想定しています。
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者など、最新の機器の使い方に慣れていない人への対応を考えてほしい。 ・タッチパネルは、高齢者には馴染めないのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・できるだけ分かりやすい表記に配慮するとともに、展示解説員が使い方を説明いたします。
<ul style="list-style-type: none"> ・多くの展示施設を見てきたが、高齢者にとってはどこも同じ。映像は記憶に残らない。 ・巨大なスマホのような施設に感じられる。 ・デジタルで表現できる可能性が疑わしく、もう少しオールドスクールの伝統的な形のものがあるとよい。 ・ただ「見るだけ、聞くだけ」では伝わらないと思う。見た後に振り返られる時間が必要だと思う。見た後に振り返る場所があるとよい。 ・大川小の裁判の記録を展示すべきでないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・御意見として承り、今後の参考とさせていただきます。
<ul style="list-style-type: none"> ・吊り下げ展示が全然ないのはなぜか。 ・シアターをクローズにできないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・建築物のデザインにより、対応できないこととなっています。

<動線について>

御意見, 御質問	県対応方針
<ul style="list-style-type: none"> ・展示で想定している収容人数はどれくらいか。団体の対応はどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・収用人数や動線は、展示内容と合わせて検討してまいります。 ・団体の受け入れに当たっては、周辺の伝承施設等と連携し、効率的な展示見学の動線を検討してまいります。
<ul style="list-style-type: none"> ・複数クラスが来た場合の時間配分など動線はどうか。 ・回る順番やストーリー性は決まっているのか。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・「教訓シアター」を学習プログラムの場として使う話もあったが、メイン映像を見られない時間帯が生じるが、その場合の対応はどうか。 	

<運営について>

御意見, 御質問	県対応方針
<ul style="list-style-type: none"> ・コーディネートやオペレーション機能で、伝承活動者を出していくことが宮城県の独自性になるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・御意見として承り、今後の参考とさせていただきます。
<ul style="list-style-type: none"> ・説明する語り部や案内人はいないのか。 ・語り部のような役割は必要。人が説明して相手に伝わるような記憶に残る施設にしてほしい。 ・来館者からの質問への受け答えもできるように人を配置していくべき。配置する際には、ボランティアで置くのはよくない。 ・展示では、県内全体のことを取り扱うに当たって、どのように地域と連携していくのか。 ・ソフト事業では、どのようなことを考えているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営に当たっては、展示解説員を設置することとしており、来館者からの御質問にも対応してまいります。 ・また、展示物を活用した各地域の震災伝承に関する企画も検討してまいります。
<ul style="list-style-type: none"> ・解説員配置は何人ぐらいを想定しているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・展示解説員の配置数については、県の予算を踏まえながら検討してまいります。
<ul style="list-style-type: none"> ・企画展示については、市町村によって温度差があり、出すものが全然違う。誰に声をかけるかでも全然違う内容となる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・御意見として承り、今後の参考とさせていただきます。

御意見, 御質問	県対応方針
<p>・コーディネート機能は、展示に関係するコーディネートしかできないのか。語り部や震災遺構を、また、人と人とを繋ぐゲートウェイと考えてのコーディネート機能か。</p> <p>・コーディネートには2種類あり、語り部や震災伝承団体、震災伝承と観光など受け地側のコーディネートと、来訪者対応のコーディネートがある。ここでは、どのようなレベルのコーディネートを考えているか。</p> <p>・コーディネートについては、展示解説とはまた別の技能やノウハウが必要になってくると思う。</p>	<p>・コーディネートのあり方については、関係機関や皆様からの御意見などを参考に、今後検討してまいります。</p>